

平成 24 年度第 3 四半期保安検査および保安調査において  
保安規定違反区分「監視」と判断された各項目の概要  
( 柏崎刈羽原子力発電所 )

5 号機低レベル放射性廃棄物分析試料 ( 濃縮廃液 ) の誤廃棄について

事象の概要

平成 24 年 10 月 24 日に 6 号機管理区域にあるホットラボ\* 試料保管室において、試料分析に従事している協力企業作業員が、鉛保管容器に保管していた試料を確認したところ、同年 6 月 4 日に採取した 5 号機の放射性廃液分析試料 2 リットル ( 1 リットル試料ポリビン 2 本 ) が保管されていないことを発見しました。

このため 5 ~ 7 号機管理区域全域の現場調査や管理区域外へ持ち出された可能性の調査、試料の採取、保管に関する業務の調査等を行った結果、ホットラボは施錠管理していること、鉛保管容器内には分析試料が識別できない状態で混在し保管されていたこと、分析を終えた試料は随時廃棄する運用としていたことなどから、管理区域のサンプリングシンク ( 流し台 ) へ誤って廃棄したものと推定しました。

今回、誤って廃棄した試料はサンプリングシンク ( 流し台 ) から液体廃棄物処理系へ排水し、適切に処理されたものと考えており安全性への影響はありません。

\* ホットラボ

発電所管理区域内にあり、発電所内で発生する液体や気体の放射化学分析等を行っている。

保安規定の該当条項等

第 3 条 ( 品質保証 ) 7.5 業務の実施

対応状況

再発防止対策として、分析試料の識別表示の明確化や試料保管場所の物理的な区画を行うとともに、定期的な状況確認の実施や作業時の監理員の立会いなど、試料の保管管理・廃棄プロセスの改善を実施いたしました。

今後の対応として、上記の対応に加えマニュアルへの要求事項の明確化を図る等、適切な管理に努め、再発防止に取り組んでまいります。

添付資料 1

5 号機低レベル放射性廃棄物分析試料廃棄処理の流れ

## 5号機非常用ガス処理系放射線モニタにおけるバックグランドレベルの設定の誤りについて

### 事象の概要

平成24年11月1日に5号機で非常用ガス処理系<sup>\*1</sup>の定例試験を行ったところ、希ガス<sup>\*2</sup>の測定値が検出限界値を超える事象を確認しました。

調査の結果、他の放射線モニタに異常は確認されておらず、放射性物質の放出に伴う事象ではなく、非常用ガス処理系放射線モニタのバックグランド<sup>\*3</sup>レベルを誤って低めに設定していたために、みかけ上、検出レベルをわずかに超えて値が検出されていたことがわかりました。このため、バックグランドレベルを正しい値に設定し直しました。

本事象は放射性物質の放出に伴う事象ではなく、外部への影響はありません。

#### \*1 非常用ガス処理系

事故時に原子炉建屋原子炉区域に漏出してくる放射性物質を、高性能フィルタ、活性炭フィルタを介すことによって直接大気への放出を防ぎ、敷地周辺の公衆被ばくを防ぐことを目的に設置されている系統

#### \*2 希ガス

キセノン、クリプトンおよびアルゴン

#### \*3 バックグランド

放射線測定する際の自然界からの放射線

### 保安規定の該当条項

第3条（品質保証） 7.5 業務の実施

### 対応状況

再発防止対策として、バックグランドレベルの設定作業方法の見直しを実施いたしました。

また、調査の過程において、バックグランドの設定に誤りがあったという情報が現場を管理する当直員へ速やかに共有されなかったことがあり、放射性物質の放出が疑われる類似の事象が発生した場合には、速やかに関係者へ情報共有を行うように周知徹底を図りました。

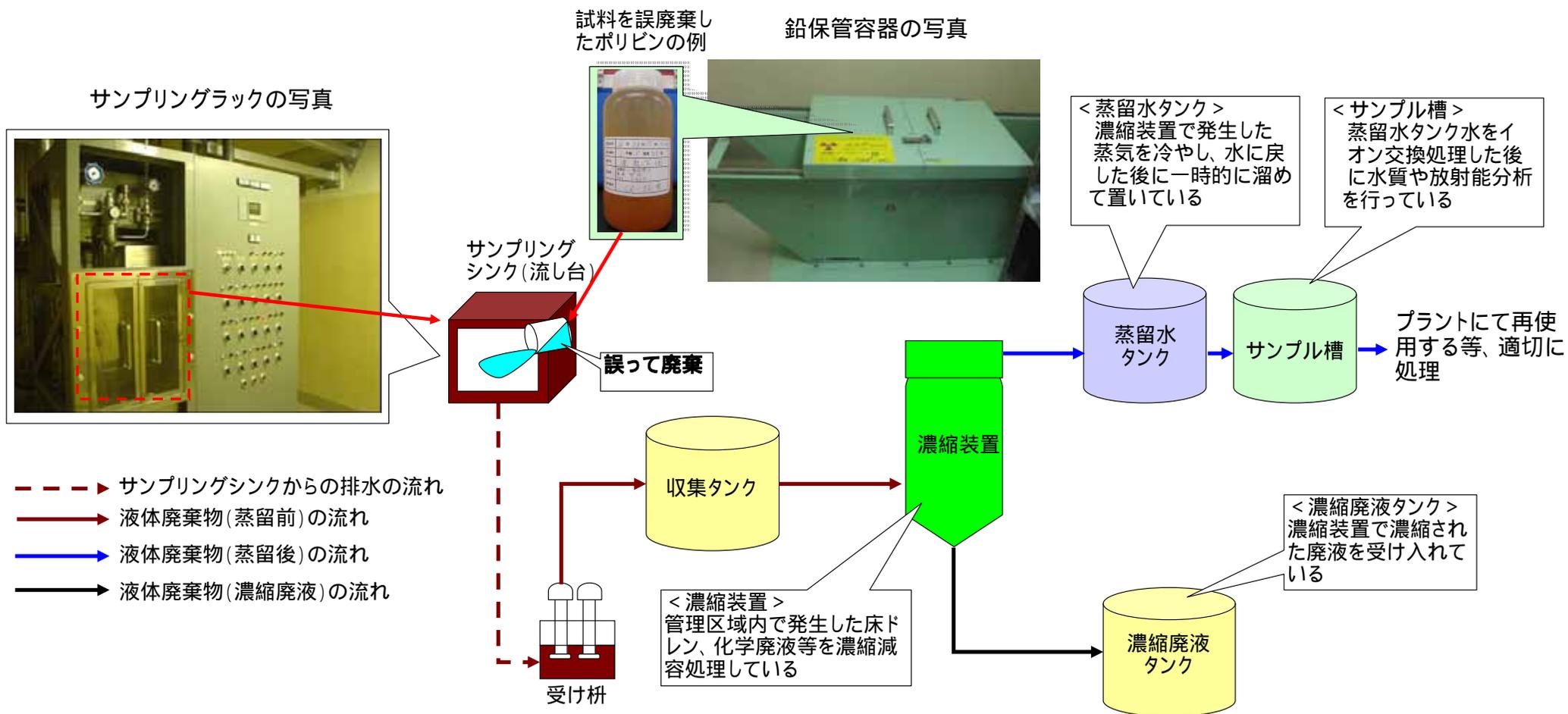
今後は、計算機内でバックグランドレベルの算出から設定まで行えるようソフト改良にも取り組み、さらなる適切な管理に努め、再発防止に取り組んでまいります。

### 添付資料2

バックグランドレベルに関する概念

以上

## 5号機低レベル放射性廃棄物分析試料廃棄処理の流れ



### バックグラウンドレベルに関する概念

—▲— SGTS放射線モニタ計数值(例)

